

第3回東日本大震災に関する活動助成 活動報告書

団体名	私の好きなこの街復興支援プロジェクト
活動テーマ	被災地（陸前高田、大船渡）にての「私の好きなこの街第4次復興支援コンサート」



東日本大震災で非常に大きな被害と犠牲者を出した陸前高田・大船渡の人々に対し、第一に音楽・文化の力で心を癒し、生きる力を引き出すこと、第二に特に震災遺児とその家族と交流し、心のケアを図ること、第三に被災地から学び関西での支援を強めること、この大きな3つの目的を持つてのぞんだ。具体的活動としては、8月17日～21日に陸前高田と大船渡で、大きな2つの公演を行う企画を立てた。関西からは53名もの支援合唱団員を組織、片道16時間もの長距離バスを乗りこなし、熱気のある演奏を繰り広げた。

さらには今回の公演には被災地住民自身に出演してもらい、地元の力を引き出したコンサートとしたことは特筆すべきことであった。第一に仮設集会所「踊りの会」の皆さんの出演であった。仮設で寄り添いながら練習を重ねた踊りを披露してくれ、また観客と総踊りもして盛り上げてくれた。そして会場を感動の渦に巻き込んだ地元の子どもの「コーラスミュージカル 雪の女王」出演である。子どもたちは両親を亡くした震災遺児であり、仮設暮らしも強いられているにもかかわらず、生き生きと演じ、透き通った歌声を響かせてくれた。これは全国にも話題を呼び、マスコミでも大きく取り上げられた。2公演で観客・出演者総勢500名を組織することができた。さらにはこのために「おらぁごころいし」などの支援創作3つの名曲が生み出され、被災地のみならず関西など全国でも歌い継がれるようになった。またこれらの成果を報告するコンサートが今年1月17日に開かれ、この公演の映像を流して関西の人たちの感動を呼び、確実に支援の輪を広げることができた。来年1月にはこの子どもたちを関西に招待してのコンサートを企画することができた。